

第1回国語分科会漢字小委員会・議事録

平成25年5月17日（金）
11時45分～12時15分
文部科学省・第2会議室

〔出席者〕

（委員）内田主査，沖森副主査，石垣，井田，岩澤，影山，笹原，鈴木（一），鈴木（泰），
関根，出久根，東倉，納屋，やすみ各委員（計14名）
（文部科学省・文化庁）岩佐国語課長，氏原主任国語調査官，鈴木国語調査官，
武田国語調査官ほか関係官

〔配布資料〕

- 1 小委員会の設置について
- 2 文化審議会国語分科会漢字小委員会委員名簿
- 3 文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）
- 4 漢字小委員会における審議スケジュール（案）

〔参考資料〕

- 1 文化審議会国語分科会運営規則
- 2 文化審議会国語分科会の会議の公開について

〔経過概要〕

- 1 事務局から配布資料の確認があった。
- 2 文化審議会国語分科会運営規則に基づき，委員の互選により，内田委員が漢字小委員会主査に選出された。
- 3 文化審議会国語分科会運営規則に基づき，内田主査が沖森委員を副主査に指名した。
- 4 事務局から，配布資料3「文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）」の説明があり，漢字小委員会の会議を公開することが了承された。
- 5 事務局から配布資料4及び机上資料の「国語分科会で今後取り組むべき課題について（報告）」（文化審議会国語分科会，平成25年2月18日）の説明が行われ，配布資料4については了承された。その後，質疑応答の時間を取ったが，質問等は特に出なかった。
- 6 次回の漢字小委員会は，6月11日（火）午後2時から4時まで，文化庁・第2会議室にて開催することが確認された。
- 7 各委員の発言等は次のとおりである。

○内田主査

私は本当に漢字というものに憧れはあるんですけども，それについての実績も余りないので，これを機に委員の皆様からいろいろな御意見を出していただきながら，一生懸命務めさせていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

さて、参考資料1「文化審議会国語分科会運営規則」の第2条の第5項によりますと、「主査に事故があるときは、当該小委員会に属する委員又は臨時委員のうちから主査があらかじめ指名する者が、その職務を代理する」とされております。そこで、今期は「常用漢字表の手当て」について検討していくということでもありますから、直接、常用漢字表の改定作業に関わられた沖森委員を主査の代理者である副主査として、指名申し上げたいと思います。

○沖森副主査

先ほどの国語分科会で申し上げましたけれども、私は平成19年から4年間、常用漢字表の改定に関わるワーキンググループの一員として、そこにいらっしゃる笹原委員と一緒に改定作業に携わった者です。今回は、後始末をしろというようなことなのかもしれませんが、なにとぞよろしく願いいたします。

○内田主査

心強いです。ワーキンググループですごく大変な検討作業を、何十回ですか、なされたと同っておりますので、頼りにしております。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、協議に入る前に、配布資料3「文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）」の説明を事務局をお願いしたいと存じます。これは先ほどの総会で御了解いただいた文化審議会国語分科会の議事の公開についてに倣ったもので、小委員会の議事についても公開しようというものでございます。

事務局（氏原主任国語調査官）から配布資料3について説明

○内田主査

それでは、ただ今の事務局の御説明を御了承いただけますでしょうか。漢字小委員会の会議の公開について、御了承いただけますでしょうか。（→ 「異議なし」の声あり。）

ありがとうございます。それでは、事務局に配布資料4と、机上にある「国語分科会で今後取り組むべき課題について（報告）」の説明をお願いしたいと思います。何か御質問などがありましたら、説明を受けた後に、質疑の時間を取りたいと思います。

事務局（氏原主任国語調査官）から配布資料4、及び「国語分科会で取り組むべき課題について（報告）」について説明

○内田主査

ありがとうございます。ただ今の御説明に何か御質問ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。（→ 挙手なし。）

この報告冊子は、先ほどの会でも各個人に配られたものでございますので、いつもこの

冊子を参照しながら審議を進めてまいりたいと思います。

それでは、本日は最初の小委員会でありまして、時間も非常に限られておりますから、課題となる異字同訓の漢字の使い方に関する協議は、次回の漢字小委員会から始めることにしたいと思います。

ただ、若干時間がありますので、御意見とか、あるいは御感想などがあればお願いしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。今、御説明のあった前期国語分科会の報告の内容などに関することでも結構でございます。御自由に御発言いただければと思います。よろしいでしょうか。(→ 挙手なし。)

それでは、これで、協議については終わりたいと思いますけれども、岩佐国語課長から御挨拶を頂きたいと思います。

○岩佐国語課長

今まで日本語教育小委員会に出ておりまして、遅れて済みませんでした。

私も実は文化庁には初めて参りまして、国語施策についても初めてなんですけれども、中国の大使館に3年半くらいいまして、そこで日本語教育をやっていたというのが関係と言えれば関係かなと思っています。

今、日本政府全体としてクールジャパンという取組をしております。ポップカルチャーとかそういうのが中心ではあるんですが、やはり中国にいても、日本語が非常に格好いい、クールだという声をよく聞きました。中国では残酷の「酷」という漢字を使って、「クー」と読むのですが、意味はクール、格好いいということなんです。中国でも日本語が「酷」だと思ってくれる方が実はたくさんいらっしゃいます。美しい伝統的な日本語を守っていく、継承していくという観点とともに、世界的にも非常にクールだと見られている日本語を文化として発信していくという観点も必要なかなと思っています。

国語とか漢字という点では、いろいろこれから勉強させていただきたいと思っていますので、たくさんの審議事項があるかと思っておりますけれども、よろしく願いいたします。

○内田主査

漢字小委員会にとっては何より心強い。やっぱり中国から漢字が来たわけですし、それに御見識も御経験もありますので、いろいろとこれからも御示唆など頂ければと思います。

それでは、本日の漢字小委員会は、これで閉会とさせていただきたいと思います。ありがとうございました。